石清水八幡宮駅周辺の未来をみんなで考えようを開催しました！

開催概要

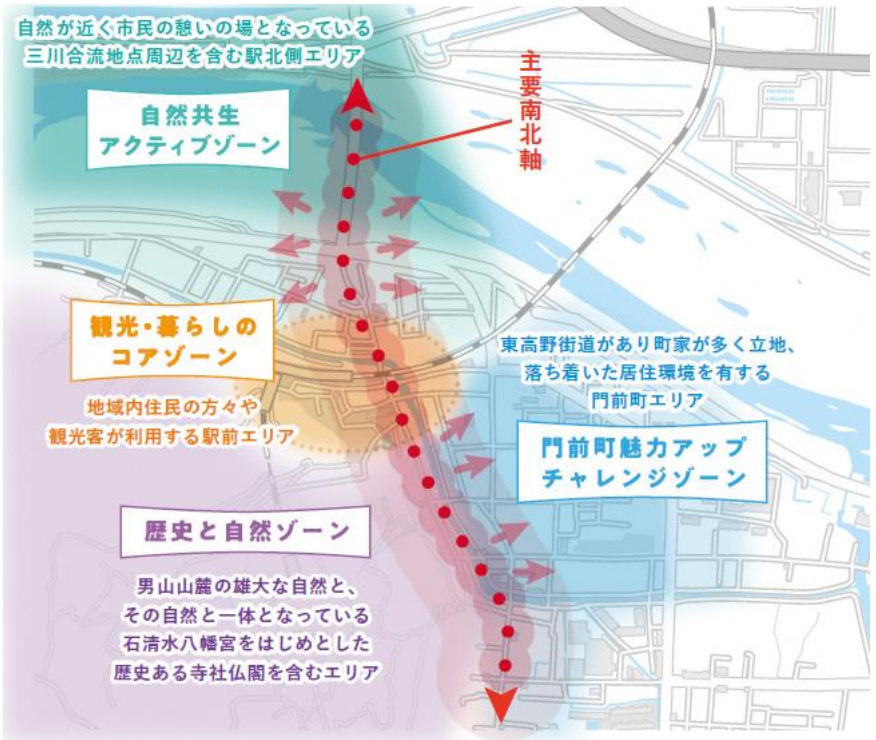
日 程　２０２５年10月4日（土）／25日（土）
会 場　山柴公民館
参加者　計５０名
地域の方々をはじめ、多くの方に参加いただきました
ありがとうございます

グランドデザインについて

八幡市では、まちづくりを進めていくため、長期的な視点のもと市の玄関口にふさわしい駅周辺の目指すべき将来像を検討しました。また、今年２月にはシンポジウムを開催し、みなさまからご意見をいただき、石清水八幡宮駅周辺グランドデザイン案を作成しました。今年度末のグランドデザイン策定に向け、未来を考えるワークショップを２回開催しました。

みつけよう八幡のいいところ・惜しいところ
将来、石清水八幡宮駅周辺でどんな事ができるかな！？

1 まち歩きを実施しました　八幡のいいところ・惜しいところを再発見しました



2 まちに対する思いを共有しました
Future（将来実現したいこと）、First Step（まずチャレンジすること）を話し合いました

近畿大学　田中　晃代　先生

知って、学んで、やってみることが大切です。将来のことを考える際には、自分が楽しめることから、やってみたいことを実験的にはじめるのがよいでしょう。それらが繋がっていくことで物語になります。

大谷大学　野村　実　先生

八幡には石清水八幡宮をはじめ魅力的な場所に加えて、魅力ある人々も点在していると感じています。みなさまがアイデアを持ち寄り、部活のように集まる機会を設けることが、必要ではないかと思います。

3 みなさまと考えたことをまとめました

	いいところ・惜しいところ	First Step まずチャレンジすること	Future 将来実現したいこと
観光暮らしのコアゾーン	• 情緒ある景観が残る（景観） • 商店が少ない（賑わい） • 八幡らしさが弱い（観光） • ロータリーが需要に対して広い（交通） • 市内各所へのアクセスが不十分（交通） • 駅前から一の鳥居や男山などが見えない（景観）	• 景観のルールを考える（制度） • まずは知るために勉強会を開催する（暮らし） • 民泊・カフェを運営する（賑わい） • 空きスペースに地元のお店を誘致する（空地・空き家） • 朝市など各種イベントを開催する・参加してみる（観光・賑わい） • イベント等SNSで情報発信する（PR）	• 観光客も住民も楽しめる・ホッとできる駅前にしたい（観光・暮らし） • もっと「はちまんさん」をまちのシンボルとしたい（観光） • 飲食店や、宿泊を伴う観光客が増える（観光） • バナーフラッグ等を活用し、情緒ある景観を形成したい（景観） • 誰もが参加しやすい石清水祭にしたい（歴史・体験）
自然共生アクティブゾーン	• 自然が豊富（自然） • 自転車ルートが整備されている（体験） • 防災施設を日頃から活用しておきたい（暮らし） • サイクリストに線路を超えてまちまで来てもらいたい（観光） • 駅から背割堤や川が認識し辛い（景観）	• 河川敷を有効活用する（制度） • 船での観光ツアーを組む（観光） • ランタン祭りなど夜間のイベントを開催する（観光・賑わい） • グランピングをする（体験） • SUPなど河川で遊ぶ（体験） • 竹を使ったワークショップを開催する（体験）	• 舟運を復活したい（観光） • 自然を眺めながらカフェでゆっくりしたい（自然・賑わい） • 蛍が帰ってくるような環境にしたい（自然） • 自然アクティビティで有名なまちにしたい（体験） • サイクリストから目的地とされるまちにしたい（観光・体験）
門前町魅力アップチャレンジゾーン	• 歴史ある建物が多く残されている（歴史） • 魅力的な個人商店がある（賑わい） • 今ある資源の保存・保全をする必要がある（歴史） • 夜道が怖い（暮らし） • 空地・空き家の管理が必要（その他）	• 道標をめぐり歴史に触れる（歴史） • 八幡の歴史を学んで、人に話せるようになる（歴史） • 謎解きウォーキングを開催する（観光） • まち歩きしてみる、カフェに行ってみる（観光） • 魅力をSNSで情報発信する（観光） • 写真展に参加してみる（その他）	• 川沿い・古民家でカフェを運営できるようにしたい（賑わい） • 飛行神社と連携してまちを盛り上げたい（観光・賑わい） • 石清水八幡宮につながる動線が整備できている（交通） • 古民家を借り上げられるようにする（その他）
歴史と自然ゾーン	• 石清水八幡宮がある（歴史） • 石畳などが整備されている（景観） • 川辺の居心地が良い・整備されている（自然） • こもれびルートを復活させてほしい（自然・体験） • 駐車場の確保が必要（交通） • ごみが多い（その他）	• 男山四十八坊跡を探してみる(歴史) • 学芸員さんや先生から歴史を学ぶ（歴史） • 観光ボランティアに参加する（観光） • 山の草刈りを行う（自然） • 「はちまんさん」探検コースを作成する、参加する（体験）	• 宿坊など、宿泊・体験できる場所がある（体験） • 男山で地元の子どもたちが遊び、成長する（体験・暮らし） • 男山に憩いスペースがある（自然） • 石清水八幡宮へ上る古道があり、軽登山の聖地にする（歴史・体験） • 男山四十八坊探索ルートでウォーキングを楽しんでいる（歴史）

◆ グランドデザイン策定までの流れ ◆

※ワークショップの日程以外は全て現時点の予定です

市民のみなさまの動き

みなさまのご意見を収集・反映

第１回ワークショップ（10/4）

第２回ワークショップ（10/25）

パブリックコメント（12/23～1/12）

シンポジウム開催

グランドデザイン公表

（2026年３月）

グランドデザイン案

グランドデザインのブラッシュアップ①

グランドデザインのブラッシュアップ②

問い合わせ先　八幡市役所建設産業部 まちづくり推進課　☎ 075-983-3360